

今年も描きます！ 田んぼアート

地域とともに動き出す

今年度も、五小の田んぼアートが動き出しました！昨年度、初めて取り組んだ田んぼアートでは、田んぼに「五小 2025」の文字が浮かび上がりました。今年度は、そのバトンを受け継ぎ、児童会代表委員会が中心となって決めた一文字「光」と「2026」を田んぼに表していきます。その第一歩として、6月25日には、5年生が地域の方々に教えていただきながら田植えを行います。

この取組は、田んぼをお貸しいただく方をはじめ、区長の皆様、赤羽公民館、設計・準備に関わってくださる事務所の方など、多くの皆様のお力によって実現しています。児童が考えた一文字を、地域の皆様のお力をお借りしながら田んぼに表していく。その過程には、五小だけではつくりだすことができない、人の手と地域の思いが重なっています。

田植え、管理、そして完成まで。今年も、たくさんの方の手によって、五小らしい田んぼアートが少しずつ形になっていく予定です。



児童会本部、全校アンケート実施!

令和8年度 田んぼアートについて

各学級で、田んぼアートの文字案を考えて下さい。各クラスから上がった案を児童会代表委員会が話し合ってお決めたいと思います。よろしくお願ひします。

幅を揃える関係上、1文字(8画以下)の漢字をお願いします。

締め切り: 5/25(月)

テーマ: 五小ってこんな学校!、もしくはこうい学校にしたい!

| 漢字 | 意味 |
|----|--|
| 和 | なごみ、やわらかく、おだやかなる、仲良くする、争わないなど →みんなで作って、仲良くする? |
| 光 | ひかり、かがやき、明るくする →ひとりの個性を輝かせる? |
| 明 | あかるい、はっきりしている、あかるく明るくする →明るく元気、みんなに輝かせる? |
| 歩 | 足をふみだして、前にすすむなど →どんなことでもこつこつと進んで、すすむ? |
| 友 | ともだち、なかま、したくする、助け合うなど →友達を大切に、仲良くする? |
| 拓 | ひろく、まひらく、ひろげるなど →いろいろなことにきまようももち、自分でまひらく? |

(その文字にこめたい思いなども書いてください!)

例 ※参考までに!

児童会本部が、今年の田んぼアートに向けて全校にアンケートを実施しました。

各学級から寄せられた案を基に、話し合いを重ね、今年の一文字は「光」に決定。全校の声を集め、自分たちで考え、学校の行事を動かしていく姿に、とても頼もしさを感じました。

また、給食時の全校放送で、アンケート結果を上手に伝えてくれました!

「かがやく五小の子どもたち、まじめであきらめない」 児童会代表委員会が込めた願いが、季節とともに田んぼに浮かび上がる日を、楽しみにしています。



田んぼに文字が浮かび上がるまでには、たくさんの時間と手間があります。種もみから苗が育ち、田植えをし、水や田んぼの様子を見ながら、稲は収穫へ向かっていきます。お米は、自然の力と、人の手が重なってできるものです。田んぼアートをきっかけに、ご家庭でも、毎日のご飯が食卓に届くまでの道のりや、食を支えてくださる方々のことに目を向けていただければと思います。



五小的解説 / お米ができるまで

1 たねまき 種まき



種もみをまき、芽が出るのを待ちます。

2 いくびょう 育苗



ハウスの中で、丈夫な苗に育てます。

3 たおこし・しろかき 田おこし・代かき



田んぼの土を耕し、水を入れて田植えの準備をします。

4 たうえ 田植え



育った苗を、田んぼに一本ずつ植えていきます。

5 せいちょう 生長



苗はぐんぐん大きくなり、青々とした田んぼになります。

6 みずのかんり・くさとり 水の管理・草とり



水の深さを調整し、草をとってよいお米に育てます。

7 ほがでる・みのも 穂が出る・実る



穂が出て、だんだんと黄金色に実っていきます。

8 しゅうかく 収穫



実ったお米を収穫します。おいしい新米のできあがり！

たくさんの人の力と、自然のめぐみで、おいしいお米ができます。感謝して、味わって食べましょう！



1問目 お米のひみつクイズ!

ご飯1杯分(約150g)には、お米が何粒くらいあるでしょう?

- A 約30粒
- B 約300粒
- C 約3,000粒

2問目 お米のひみつクイズ!

田んぼアートで文字や絵が見えるのは、何を使い分けているからでしょう?

- A 色のちがう稲
- B 田んぼの水の量
- C 見る場所のちがい

3問目 お米のひみつクイズ!

お米をよくかんで食べると、だんだんあまく感じるのはなぜでしょう?

- A お米に砂糖が入っているから
- B 口の中でんぶんが変化するから
- C お茶わんがあたたかいから

館林第五小ホームページ

正解は 学校ホームページで 近日公開!

こちら!

公開までお楽しみに!

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daigo/>

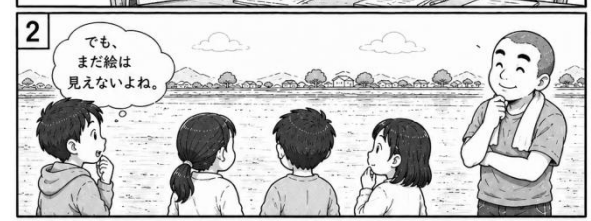


田んぼに文字が表れるのは、まだまだ先のことです。けれど、その前から、田んぼアートは静かに動き始めています。全校から集まった声。放送で届けられた言葉。田植えに向けた準備。田んぼを整えてくださる方々の手。まだ田んぼには見えていなくても、そこにはすでに、たくさんの思いと時間が入っています。

学校の学びも、同じなのかもしれませんね。目に見える結果になる前に、考える時間があります。相談する時間があります。試してみる時間も必要ですし、人の力を借りながら、形になる前のものを大切に育てていく時間があります。

今年のお米アートが、子どもたちにとって、米づくりを知るだけでなく、見えないところで支えてくださる方々の存在や配慮に気付く機会になれば、それは何にも代えがたいことだと思います。そして、その気付きは、田んぼに文字が表れたときに、きっともう一度、子どもたちの心に戻ってくるはずですよ。

やがて田んぼに文字が表れる頃、その景色は、ただの文字や絵ではなく、見えないところで重ねられてきた時間と、確かな実りを映すものになっている...ことを、心から期待しています。



光は、育つ前から始まっている。